

令和3年4月27日（火）

国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所

武州ガス株式会社

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

記者発表資料

武州・入間川プロジェクト（官民連携による市民活動の助成事業）
の助成団体を選定しました。

令和2年12月1日より募集を開始した、「武州・入間川プロジェクト」（官民連携による市民活動の助成事業）に多数のご応募をいただき誠にありがとうございました。

「武州・入間川プロジェクト」では、第12回入間川環境保全支援委員会を開催[※]し、応募団体の活動内容や助成内容を審査したうえで、別紙の団体（14団体）を選定しました。

※委員会については、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しWEBにて開催しました。

【武州・入間川プロジェクト】

武州ガス株式会社（企業者）、荒川上流河川事務所（河川管理者）、（公財）埼玉県生態系保護協会（有識者）が主体となり、入間川流域で環境保全活動をされている市民団体等に、活動支援を行う新しい形の官民連携事業です。この取り組みにより、河川を軸とした地域社会の活性化はもとより、河川環境管理の質的向上を目指します。

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ	川越新聞記者会	所沢記者クラブ
神奈川建設記者会	竹芝記者クラブ	

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所		
副所長	よねざわ ひろき 米沢 拓繁（内線 205）	
調査課長	あまい ようへい 天井 洋平（内線 351）	TEL049-246-6360
武州ガス(株)		
企画部長	おおくぼ ただお 大久保 忠夫	
企画グループマネージャー	すべ ひろふみ 須部 洋史	TEL049-241-9590
(公財)埼玉県生態系保護協会		
事務局長	まえだ ひろゆき 前田 博之	TEL048-645-0570

(別紙)

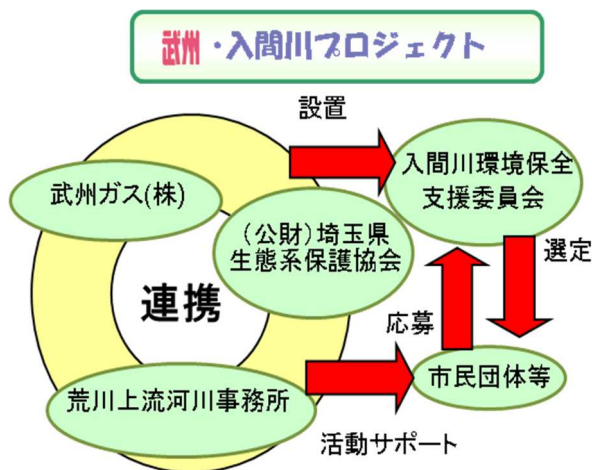
令和3年度 助成団体一覧

番号	団体名	活動タイトル	団体種別	代表者	設立年	申請活動種別	活動期間	活動場所	主な助成希望内容
1	特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク	入間川一斉水質調査及びマップ作成	特定非営利活動法人	鈴木 謙行	1995年	自然環境調査	2021年4月 ～2022年3月	川越市・入間市・狭山市・鶴ヶ島市・坂戸市・日高市・嵐山町・鳩山町・ときがわ町他(入間川水系)	水質検査キットの送付 流域の水質調査 一斉水質調査マップの印刷、配布
2	上尾の自然を守る教職員会の会	三ツ又沼ビオトープの自然環境を 楽しむ会	市民団体	安孫子 繁子	1998年	環境・体験学習	2021年4月 ～2022年3月	上尾市、川島町、川越市境界付近(入間川、荒川ノ三ツ又ビオトープ)	自然観察 ほき草 七草採り、七草粥
3	特定非営利活動法人 荒川の自然を守る会	三ツ又沼ビオトープの自然環境管理 作業	特定非営利活動法人	木ノ内 勝平	1991年	環境保全活動	2021年4月 ～2022年3月	上尾市、川島町、川越市境界付近(入間川、荒川ノ三ツ又ビオトープ)	外来植物の駆除、在来野草の育苗と移植活動 自然観察会 広報活動のための資料作成 枯れたハチク撤去作業の機器リース 保険
4	埼玉県立いずみ高等学校	三ツ又沼ビオトープの環境保全活 動	高等学校	栗藤 義明	1962年	環境保全活動	2021年4月 ～2022年3月	川島町(入間川、荒川ノ三ツ又沼ビオトープ)	管理作業研修、貸し切りバス利用 発芽・生育試験
5	高麗川ふるさとの会	清流高麗川プロジェクト	市民団体	三浦 輝夫	2003年	環境保全活動	2021年4月 ～2022年3月	坂戸市(高麗川ノ浅羽ビオトープ)	清掃活動、環境整備 野鳥調査、植生観察会 水質調査 「こまがわニュース」発行
6	特定非営利活動法人 ジョイライフさやま	外来種の駆除と環境美化活動 ・公園づくり	特定非営利活動法人	久保田 慎三郎	2014年	環境保全活動	2021年4月 ～2022年3月	狭山市柏原(入間川左岸)	河川敷の草刈り 水生生物観察・調査、水質調査 地引期による魚類調査、外来種の駆除 カヤック体験による景観観察、ゴミ収集
7	特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム	鳩山における自然環境調査保全活 動	特定非営利活動法人	愛場 謙嗣	2007年	自然環境調査	2021年4月 ～2022年3月	鳩山町(唐沢川)	水質調査(農業成分残留調査) 広報
8	特定非営利活動法人 かわごえ里山インシアテブ	生きもの育む田んぼプロジェクト 2021	特定非営利活動法人	増田 純一	2014年	その他	2021年4月 ～2022年3月	川越市福田地区(入間川)	広報冊子・チラシ作成 ビオトープ田圃整備 ミヅハチの飼育、花の種まき ビオトープ・用水路・田んぼの生きもの調査 講演会
9	SUN JOY南小群川	アレチウリ駆除と、 海プラごみ阻止活動。	市民団体	安原 昭司	2013年	環境保全活動	2021年4月 ～2022年2月	川越市笠幡(南小群川ノ田中橋～神明橋)	アレチウリ駆除と雑木処理 プラごみ回収 活動記録作成
10	比企の川づくり協議会	人が憩える水辺とはシンポジウム	市民団体	渡辺 仁	2000年	講演会、シンポジウム等	2021年6月～12月	東松山市(都幾川)	講師の招へい チラシ・報告書の作成、印刷 シンポジウム開催
11	狭山市立入間川小学校	ぼくたち、入間川探検隊!	小学校	新井 忠洋	1874年	環境・体験学習	2021年4月 ～2022年2月	狭山市(入間川)	水生生物調査、水質検査等の環境学習 カヌー体験、地引網体験 学習発表会 講師の招へい
12	城西大学	ホトケドジョウの生息地を環境DNA で探る	大学	藤野 陽三	1965年	自然環境調査	2021年4月 ～2022年2月	坂戸市(高麗川・葛川・飯盛川)	環境DNA解析 学会報告
13	埼玉県立総合教育センター 江南支所	農業・環境・自然体験講座	その他	川目 靖久	1965年	環境保全活動	2021年6月～12月	川越市、川島町(入間川、荒川ノ三ツ又沼ビオトープ)及び小川町、ときがわ町	高校生対象の保全ボランティア実習 外来植物の駆除
14	川島町立つばさ南小学校	大好き川島!～守ろう 川島の緑 と水～	小学校	新井 馨	2018年	環境保全活動	2021年4月 ～2022年3月	川島町(入間川、荒川ノ三ツ又沼ビオトープ)	三ツ又沼ビオトープでのフィールドワーク (自然観察、外来種駆除等) 調べ学習・新聞作り 発表会

1. 「武州・入間川プロジェクト」概要

「武州・入間川プロジェクト」は、武州ガス株式会社（企業者）、荒川上流河川事務所（河川管理者）、（公財）埼玉県生態系保護協会（有識者）が主体となり、入間川流域で環境保全活動を行っている市民団体等に、活動助成を行うものです。本プロジェクトは、これら三者の連携により、河川を軸にした地域社会の活性化と、河川環境管理の質的向上を目指します。

活動助成にあたっては、助成する市民団体等を募集し、別途学識者を含めた「入間川環境保全支援委員会」により助成団体を選定します。選定された団体に、助成金を交付（最大20万円）するだけでなく、必要により当該河川に関する情報提供、専門家、講師の派遣など活動をサポートいたします。



各主体からの支援内容は以下の通りです。

【武州ガス株式会社】

活動資金の提供（活動助成）等

【荒川上流河川事務所】

活動フィールドの提供、河川に関する講師の派遣・情報の提供、調査の共同実施

【公益財団法人埼玉県生態系保護協会】

市民団体等への指導・助言、専門家の派遣等

2. 助成対象期間

令和3年4月1日～令和4年3月1日の間に実施する活動

3. 選定結果

選定された団体名は別紙の通りです。

4. 令和2年度までの助成状況

武州・入間川プロジェクトでは平成22年度のプロジェクト開始以来11年間で累計135団体の活動を助成し、助成総額は19,289,574円となりました。



令和2年度武州・入間川プロジェクトの助成を受けた活動の様子

（ビオトープの環境調査・学級園で在来植物の育成の様子）

※今までの助成活動は、https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index049.htmlをご確認願います。

武州 入間川 プロジェクト

武州・入間川 プロジェクト とは

入間川流域で環境保全活動をされている市民団体等に対し、武州ガス・荒川上流河川事務所・埼玉県生態系保護協会が主体となりその活動を支援する助成事業です。

【趣旨】 入間川流域における地域社会の活性化を目指し、市民団体等が行う活動に対し費用助成を行います。

【助成対象】 市民団体、学校等の非営利団体による公益的な活動

【助成範囲】 入間川流域の8市8町1村
川越市、狭山市、入間市、鶴ヶ島市、日高市、川島町、坂戸市、鳩山町、毛呂山町、飯能市、東松山市、嵐山町、小川町、ときがわ町、越生町、寄居町、東秩父村での活動

【対象活動】 ① 原則として入間川流域（入間川、越辺川等）の河川内をフィールドとして行う河川環境の保全・再生・創出に貢献する活動等（河川清掃のみを目的とした活動等は対象外）
② 上記活動などに関するセミナー等の実施、河川環境・防災に関する学習活動

武州ガスと 入間川

武州ガスの創始者原次郎氏は、入間川の治水に、大きな功績を残しました。原次郎氏は、明治28年(1895年)埼玉県入間郡三芳野村紺屋(現在の坂戸市)に生まれ、水害の常習地帯である貧しい村の惨状を見て育ち、「治水を図り、貧困をなくすこと」を強く心に誓ったと言われています。昭和15年(1940年)には入間川水系改修期成同盟会会長として、治水に情熱を傾けました。そして昭和17年(1942年)には、この熱意が実を結び、入間川・越辺川・小畔川が国の直轄河川に指定され、入間川水系の三川分流工事の実現など治水に尽力されました。



原次郎氏

武州ガスは、入間川流域を中心とした地域に密着した企業として、地域を支えるとともに、社会貢献活動に積極的に参加しています。入間川流域の次の世代に伝えていくため、先人の遺志を継ぎ、今回のプロジェクトに至りました。

入間川流域



武州・入間川プロジェクトでは、平成22年のプロジェクト開始以来、11年間で累計135団体が助成を受けて活動しています。

助成団体の主な活動紹介

[狭山市立入間川小学校]



入間川の河原の岩石を、形や大きさ、重さ、見た目等の特徴から図鑑等で調べたり、夏と冬に検査キットで水質調査をしたりする体験学習を行いました。

[上尾の自然を守る教職員の会]



三ツ又沼ビオトープの調査・自然保全活動を通じて、自然離れをしている若い親子を中心に、楽しく自然に接する体験をしてもらう「自然塾」を開催しました。

[SUN JOY南小畔川]



特定外来種であるアレチウリが伸びて繁茂する前のタイミングを見計らいながら、暑さ対策として早朝に駆除を行いました。

[高麗川ふるさと会]



高麗川の浅羽ビオトープで、水の取入口の落ち葉・泥の撤去や、刈り払い機を使用した草刈り、外来植物の除去、広報「こまがわニュース」の発行・配布等を行いました。

令和2年度活動報告展の開催

武州ガス(株)展示スペース(川越アトレ)において、令和2年度助成団体による活動報告展を開催しました。



※これまでの助成活動についてはこちらをご参照下さい。
→ https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index049.html

